

夢コープニュース



〒420-0851 静岡市葵区黒金町 12-5 丸伸ビル 6F
 TEL (054)275-1100/FAX (054)275-1133
 MAIL honbu@yumecoop.jp / URL http://www.yumecoop.jp/

8月下旬、県内の感染者数が増え入院もままならなかった時のことです。夢コープ事業所スタッフ A さんの家族が出張先で体調を崩し、帰宅前にコロナ陽性と判明、帰宅後同居家族は濃厚接触者となりました。しばらく自宅療養となったため、その間のケアは A さんが行うことになったと聞きました。

その報告で、感染者の容態と同時に A さんへの感染が心配になりました。しかし、学んだ感染防止対策を徹底したことで、家族全員が感染を防げた聞き、A さんの知識と実行力に賞賛の思いでした。工夫した点を聞いてみました。

- ・感染者に接するのは A さん一人に限定
- ・家族の居住スペースを分けた上で、全員マスクを常に着用し、感染者の部屋は特に換気を心がけた
- ・共用するトイレや廊下など、感染者の触れた場所やその周囲はまず本人がアルコール消毒をし、その後 A さんが手袋着用で再度拭き取り、消毒を徹底した
- ・1つの作業ごとに使い捨て手袋を使用し、それを捨てるゴミ袋の口もきちんと閉じておいた
- ・接触をなるべく避けるため連絡はすべて LINE を使用した
- ・食事は紙皿・紙コップを使い、使用後ゴミ袋へ捨ててもらった
- ・ゴミ袋は二重にし、感染者の部屋に置いて他の場所の汚染を防いだ
- ・ゴミ回収の時は、収集する人の感染を防ぐためもう1枚袋をかぶせて出した

家族全員が外出できなかつたので、買い物を頼める友人がいてとても助かったこと、使い捨て手袋は思ったより大量に消費したので数が必要とのこと、もしもの時の貴重なアドバイスをもらいました。

このことで、コロナ感染症はきちんと対策をとれば予防できると証明してくれました。ワクチン接種で症状が軽減される傾向にあるとはいえ、感染しないに越したことはありません。これからも感染防止に気をつけましょう。

理事長 杉井 初世

このマークを見たら!!

就労支援事業所の支援員さんから夢コープの事業所に『お願い』がありました。就労支援事業所に通所し、一般就労に移行された方が、通勤途中に警察官から職務質問されたそうです。内容は不明ですが、その方はパニックに陥り、以来外出することが難しくなってしまったそうです。ヘルプマークを身につけていたようですが、目にはつかなかつたのでしょうか。多くの人にヘルプマークを知って欲しいとの事です。

知的障害・内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としていることを知らせるマークです。ヘルプマークをつけた方を見かけた場合は、電車やバス内で席を譲ったり、困っているようであれば、声をかけるなどの思いやりのある行動をお願いします。



(アカ)

事業所 リレー つうしん



this month
11月

おでかけ デイサービス いた

伊太の里では清々しい秋の青空が広がり、山々の木々が美しい季節になりました。

9月頃から男性ボランティアさんに来ていただいています。

主に紙ひこうきの作り方を教えていただくのですが、皆さん童心に帰って出来上がった紙ひこうきを飛ばし、夢中になっていらっしやいました。おしゃべりタイムには「男の人とおしゃべりして楽しい!」「なんか新鮮!!」などの声があり、ワクワクドキドキ感も体験したご様子でした。

ボランティアさんといろいろお話させていただくと、「僕も夢コープさんにお世話になってるんですよ。妻もお世話になりましたし。」とのこと。

中部事業所のヘルパーをご利用されていることが分かりました。本当の意味で「くらしの助け合い」だなと温かい気持ちになりました。



定例理事会 10月21日(木) 議決事項

- ①資格取得研修受講料補助金について

9月度活動結果報告

夢コープ会員数 411名 実働数 357名

| 事業 | 活動時間数 |
|--------------|-------------|
| くらしの助け合い | 2,494.00 時間 |
| 介護保険 訪問系サービス | 5,487.00 時間 |
| 障害福祉サービス | 1,690.25 時間 |

| 居宅介護支援 | 要介護 | 総合支援 |
|--------|------|------|
| | 564名 | 254名 |

| 施設名 | 開所日 | 当月利用者数 | 利用者数/1日 |
|--------|-----|--------|---------|
| どうぞの家 | 25日 | 21名 | 6.80名 |
| 夢コープふじ | 25日 | 18名 | 8.68名 |
| 夢コープいた | 17日 | 27名 | 6.70名 |

交通安全スローガン

夕暮れに 早めのアピール ライトオン

ヘルパーさんの ほっこりした話

～我が家の庭で～

巣箱を2個作って、ヒメシャラの木にかけました。次の年にはスズメが巣箱に出入りするようになりました。そのうちヒナが生まれ親鳥がエサをくわえて一生懸命運ぶ姿も見られるようになりました。

ある時、カラスがヒメシャラの木の近くまで来てカーカーと鳴き、夫は「ヒナをねらってる!」と大騒ぎ。カラスに向かって「こらー!こらー!」と怒鳴りちらして追い払おうとする夫の必死の姿にほっこりした気持ちになりました。





Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標

今世界中でこの“SDGs”の取り組みが広がっています。

17の目標(ゴール)

- 1. 貧困をなくそう
- 2. 飢餓をゼロに
- 3. すべての人に健康と福祉を
- 4. 質の高い教育をみんなに
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 6. 安全な水とトイレを世界中に
- 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 12. つくる責任、つかう責任
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさも守ろう
- 16. 平和と公正をすべての人に
- 17. パートナリシップで目標を達成しよう

SDGsは、気候変動や社会の格差の問題などが深刻さを増す中、2015年の「国連総会」で2030年までに達成すべき世界共通の目標とされ、17のゴールとそれを具体化した169のターゲットで構成されています。「経済・社会・環境」のいずれもが持続可能な形で成長していくことを目指し「誰ひとり取り残さない」を基本理念としています。

日本でも内閣総理大臣を本部長とした「推進本部」が2016年に設置されました。各省庁や自治体をあげ、業界団体や企業に取り組みを進めるように積極的に働きかけています。持続可能な社会の実現の為に、私たちも、自治体や企業などそれぞれの動きをしっかりと見守っていかねばなりません。

SDGsは世界規模の課題を解決するための目標です。しかしながら、自然災害の増加や地球温暖化、紛争の複雑化や貧困、感染症の流行、経済格差の拡大、少子高齢化、社会福祉財源の不足等、問題の原因を突き詰めていくと、そこには「人間」の行為に行きつくことばかりです。

このような地球規模の問題も、実は私たち一人ひとりの行為にかかっているのです。何ができるのか一緒に考えてみましょう。

これならできそう！ わたしの **アクション!**



身近な例を一部挙げてみました。
日常生活の中で自分にできそうなことを考えてみましょう。

- 水道の蛇口をこまめに閉める。
- 風呂の水を有効活用する。
- 使っていない部屋の電燈を消す。
- エアコンの温度を冬は低め、夏は高めに設定する。
- 野菜や果物は「訳あり品」を買おう。大きさや形や色が規格に合わなくて捨てられるものがたくさんある。
- できるだけ簡易包装の品物を買う。
- 詰め替え可能な品物を選ぶ。
- 時期や地場の野菜を積極的に購入する。
- 近隣の移動は、車をやめて自転車を利用したり歩いてみる。
- できる環境なら家庭菜園にチャレンジする。
- 買い物には、マイバッグを持参する。
- 使わないものは寄付しよう。
- 新品でなくてもいいものは、中古品店から掘り出し物を見つけよう。
- 紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルすると、埋め立て地を増やす必要がない。
- 古布はリユース、リサイクル、リメイクする。福祉施設などにウエスとして寄付する。

食に目を向けると

- ◎ **食品ロス** を減らす
食べられるのに捨てられている食品が日本では約612万トン。国民一人当たり毎日お茶碗1杯分の食材を捨ててしまっていることになる。
(賞味期限：おいしく食べられる期限、消費期限：食べても安全な期限)
- ◎ スーパー等の **フードドライブ** に参加する
- ◎ 近隣の **子ども食堂** に協力する
- ◎ **フェアトレード** (公正取引) 商品を購入する
発展途上国でつくられた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することで、生産者の持続的な生活向上を支える仕組み。